

令和7年(2025年)10月2日(木)

平和記念資料館学芸展示課 電話：242-7796

副館長(事)学芸展示課長：豆谷 / 担当：山下,宇多田

広島平和記念資料館 特別展

「ヒロシマ・ナガサキから世界へ 海外原爆展の取組」

を開催します

被爆50年の1995年(平成7年)に始まった海外原爆展「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」の開催実績は、2024年度(令和6年度)末時点で22か国・60都市・延べ70回にのぼります。

被爆80年を機に、同展のあゆみを振り返りながら、海外で原爆展を開催する意味や課題について考え、事業のさらなる展開に繋げることを目的とします。

1 概要

これまでの開催状況や各地の反響を伝えるとともに、広島市や平和文化センターがこの事業に重点的に取り組むきっかけとなった第1回の開催経緯をはじめ、現物資料の展示と保存の問題、現地で体験証言を行った被爆者の思い等を紹介します。

2 期間

令和7年10月9日(木)～令和8年2月1日(日)

3 会場

東館1階 企画展示室(令和7年度第1回企画展「新着資料展」と同時開催)

4 構成

① はじまりの展示

スミソニアン国立航空宇宙博物館の展示計画中止 / アメリカン大学での原爆展開催

② 世界の街で

ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展のあゆみ / 開催状況 / 来場者の声

③ 本物とレプリカ

保存と活用の問題 / レプリカの展示

④ ポスターで作る原爆展

ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスターの提供 / 活用例(JICA海外協力隊による原爆展)

⑤ 証言者の思い

昨年度の会場で被爆体験証言を行った 八幡照子さん・笠岡貞江さん の言葉

5 内容

解説パネル(写真・図表を含む)21点、現物資料1点、レプリカ1点

6 入場料

無料(企画展「新着資料展」とあわせてご覧ください。)